

2021年度GUIDE

認定看護師教育課程

摂食・嚥下 障害看護

〔定員〕

25名

〔開講期間〕

2021年7月



2022年1月

《摂食嚥下支援加算》には、

《摂食嚥下支援チーム》の設置が条件となりました。

（令和2年度 診療報酬改定）

センター長 あいさつ

地域の看護の質向上に貢献し得る人材を育成

群馬パース大学看護実践教育センターは、多様化する看護の場において質の高い実践を担う人材の育成を目的に掲げ、開設から2年目を迎えました。2020年10月完成の新校舎に講義室2室、演習室等を完備した専用フロアを設け、新たな環境で様々な研修会、研究会等を開催し、群馬県及び近隣地域で活躍する看護職の皆様の生涯学習の拠点となることを目指します。

当センターの認定看護師教育課程（摂食・嚥下障害看護）は、PAZグループの理念である「Dum Spiro Spero ～人には生命ある限り希望がある～」を食の支援をととして実現し、地域の看護の質向上にも貢献し得る人材を育成します。専門領域の優れた講師陣と、実践経験豊かな専任教員達のサポートのもと、志を同じくする仲間と学ぶ7か月間は、きっと、皆様の飛躍を支える大きな力となるでしょう。

群馬パース大学 看護実践教育センター長 矢島 正栄



群馬パース大学
看護実践教育センター主任教員

伊藤 順子

その“ひとくち”をあきらめない看護

私は、今まで多くの患者さんと出会い「食べたい」という気持ちに応えることができず、摂食・嚥下障害看護 認定看護師になりました。患者さんの「食べる」ことを支えるためには、全身状態の観察、嚥下障害のアセスメント、食形態の選定、姿勢や環境調整、摂食動作の工夫、栄養改善、リスク管理、家族指導など看護師に求められる役割は多岐にわたっています。また、看護師はチームのキーパーソンとなります。摂食嚥下障害は、原因によって治療法もリハビリテーションも異なりますが、いつも近くにいる看護師がその“ひとくち”をあきらめないことが大切です。患者さんの生きる希望を閉ざしてしまうことのないよう、私たちと一緒に看護にこだわってみませんか。



群馬パース大学
看護実践教育センター専任教員

板垣 卓美

おいしさや、食べる喜びを味わえるように

看護が対象とする全ての人にとって、本来食べることは喜びであるはずですが、翻って、食べることがままならない、或いは食べることが肺炎や窒息に繋がる恐怖の行為として自覚されてしまうような状態を想像すると、どうでしょうか。そんな想像をするだけで苦しい思いに駆られるような状態を、実際に生きているのが摂食嚥下障害をもつ人であると思います。

摂食嚥下障害をもつ人に、満足に食べられない苦しみではなく、美味しさや食べる喜びを味わえるようになってほしい。当教育課程は、そんな我々と同じ願いを持った皆さまの学びを全力でサポートしていきます。

楽しく一生懸命、約7か月の開講期間をともにしていきましょう。皆さまのチャレンジをお待ちしています。

教育理念・教育目的

認定看護師教育課程 の教育理念

群馬パース大学の建学の精神「Paz（平和）平和で公正な社会の発展、Pessoa（個性）個人の尊厳と自己実現、Assistencia（互助）多様な人々の共存と協調、Zelo（熱意）知の創造、への貢献」のもと、少子高齢化の進行とともに多様化していく看護の場において、質の高い看護実践により社会に貢献し得る人材を育成します。

認定看護師教育課程 の教育目的

特定の分野において、高度な看護技術と専門知識を用いて水準の高い看護を実践するとともに、それらを基盤として多様化する看護の現場における看護師への指導・相談を行うことができる看護師を育成し、地域での看護の質の向上に資することを目的とします。

摂食・嚥下障害看護分野 における教育目的

摂食嚥下障害のある患者に対し、エビデンスに基づいた看護技術を用いて水準の高い安全で効果的な看護を実践できると共に、他の看護職者に対し役割モデルを示し、具体的な指導ができる能力を育成します。さらに、看護実践を通して他の看護職者に対し相談対応・支援ができる能力、及び、他専門職と協働し、チーム医療を推進するための役割を果たすことができる能力を育成します。

納付金

受講料

850,000 円

開講
期間

2021 年 7 月～2022 年 1 月

年間スケジュール（予定）

2021 年 7 月……………開講式、オリエンテーション

2021 年 7 月～11 月……講義、学内演習

2021 年 11 月～12 月……臨地実習

2022 年 1 月……………修了試験、修了式

教科目及び講義時間数

総時間数（660 時間）

共通科目	135
専門基礎科目	120
専門科目	165
演習・実習	240

共通科目（135 時間）

医療安全学：医療倫理	15
医療安全学：医療安全管理	15
医療安全学：看護管理	15
チーム医療論（特定行為実践）	15
相談（特定行為実践）	15
指導	15
臨床薬理学：薬理作用	15
臨床薬理学：薬物動態	15
医療情報論	15

専門基礎科目（120 時間）

リハビリテーション総論	30
摂食嚥下障害病態論	30
摂食嚥下機能評価論	15
摂食嚥下障害病態各論	45

専門科目（165 時間）

フィジカル・アセスメント論	45
摂食嚥下訓練技術論	30
リスクマネジメント論	45
摂食嚥下障害援助論	45

演習・実習（240 時間）

学内演習	60
臨地実習	180

履修証明プログラムについて

履修証明制度とは、学校教育法第105条の規定に基づき、従来の学士などの学位とは異なり、社会人等を対象にした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を受講することにより、キャリアアップ、専門性の向上、再就職、資格試験の勉強などに活用できる制度です。また、教育機関等における学修成果をキャリア形成に活かすため、履歴書等への記載が可能であり、当課程修了者には、認定看護師教育課程の修了証とともに「履修証明書」を交付します。

摂食・嚥下障害看護

受講者選抜試験

試験概要

募集分野：摂食・嚥下障害看護

募集人員：25名

出願資格：以下の要件をすべて満たしている者。

- 1) 日本国の看護師免許を有する者。
- 2) 看護師免許を取得後、通算5年以上[※]実務研修をしていること。
- 3) 実務研修内容において次の事項を満たす者。
 - ① 通算3年以上[※]、摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、又は在宅ケア領域での看護実績を有すること。なお、勤務形態が常勤でない場合には、5,400時間以上の実務研修をもって通算3年以上とみなす。
 - ② 摂食嚥下障害患者を5例以上担当した実績を有すること。
 - ③ 現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい。

※実務研修期間は2021年3月末までとする。

試験日程

出願期間 2020年12月7日(月)
2021年1月12日(火)

試験日 2021年1月24日(日)

選考方法 専門科目、小論文、グループディスカッション、個別面接、提出書類を総合して選考

合格発表 2021年1月29日(金)

受講手続き期間 2021年2月1日(月)
2021年2月15日(月)

※ 出願期間・受講手続き期間一最終日必着(簡易書留速達)

受講検定料

50,000円

2020年10月 5号館完成

2階に本課程の「講義室」と「演習室」を配置。
新築の環境で学べます。



群馬パース大学 看護実践教育センター

Address 群馬県高崎市問屋町1-5-2

Tel 027-365-3366

E-mail nintei@paz.ac.jp

Access JR上越線・両毛線「高崎問屋町駅」
問屋口から徒歩10分



Access Map

